

消防年報 2019

令和元年版



埼玉西部消防局

表紙の写真

「救助工作車（狭山救助 1）を更新」（左上）

平成 31 年 3 月に狭山消防署に配備の救助工作車（狭山救助 1）を更新しました。

救助工作車は、高度な救助資機材、クレーン、ウインチ、照明等を積載した、救助活動に特化した車両です。

「平成 30 年度警防査閲」（左下）

平成 30 年 8 月 3 日に狭山消防署総合訓練場において平成 30 年度警防査閲を実施しました。

この警防査閲は、入職 3 年以下の職員を対象に各消防署から選抜された職員で部隊を編成し、若手職員の技術の向上を目的に実施しています。

「ムーミンバレーパーク災害対応訓練」（右上）

平成 31 年 2 月 28 日にムーミンバレーパーク（飯能市宮沢 327-6）において、火災及びテロ災害を想定した訓練を実施しました。

この訓練は、平成 31 年 3 月 16 日のグランドオープンを前に、埼玉西部消防局、飯能消防団、埼玉県警察、株式会社ムーミン物語の計 4 団体が参加し、各機関との連携強化を図るため実施したものです。

「平成 30 年 9 月 25 日に寄贈された高規格救急自動車」（右下）

奥富 喜平（おくとみ きへい）様から高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を寄贈いただき、狭山消防署に配備しました。

奥富様は、狭山市内に在住され、50 年の長きにわたり狭山市防火安全協会に在籍し、会長職を務められました。現在は、同協会の顧問として、狭山市の防火思想の普及に御尽力されています。

この度の寄贈は、奥富様の救急体制のさらなる充実に貢献したいとの強い思いから実現に至ったものです。

裏表紙の写真

「埼玉西部消防局エンブレム」

中央の消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、これに日章を中心として水管、管そう、筒先から放出する水柱を配置したものです。また、消防章を囲む 5 本の炎は、組合発足時の構成 5 市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）による消防の任務に対する情熱、熱意、調和、団結を表しています。